

スタートアップ育成プログラム「J-Startup」

2023年 選定企業発表



J-Startup



J-Startup 2023 選定を受けて



この度、新たに50のスタートアップが
J-Startupに仲間入りしてくれました。

今回から新たな分野の推薦委員の方も迎え、
経産省のみならず、省の垣根を超え、政府一丸となり
スタートアップへの支援を強化していくという
強い意志と共に、選定を行いました。

社会の課題は多様化し、常に変化が求められる今。
スタートアップの皆さんこそ、
社会に対して大きなインパクトを与えうる存在であり、
今の世の中に不可欠なキープレイヤーです。

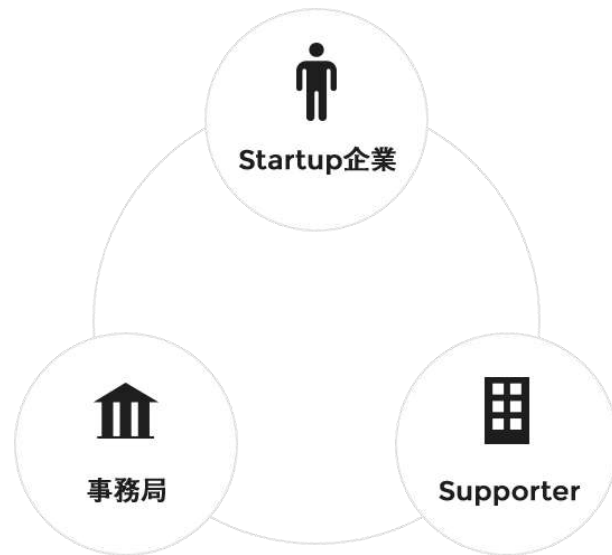
本プログラムを通して、スタートアップの皆さんと共に、
この国の経済成長、そして課題解決をさらに加速させ、
豊かな社会の実現を目指していきたいと思えます。

経済産業大臣
西村 康徳

スタートアップ育成プログラム「J-Startup」

日本では約1万社のスタートアップが日々新しい挑戦をしています。
しかし、グローバルに活躍する企業はまだ一部。
革新的な技術やビジネスモデルで、
世界に新しい価値を提供するスタートアップを創出するため、
「J-Startup」プログラムは2018年6月に立ち上がりました。

「J-Startup」は、実績あるベンチャーキャピタリストや
大企業の新事業担当者等の外部有識者からの推薦に基づき、
潜在力のある企業を選定し、政府機関と民間の
「J-Startup Supporters」が集中支援を行うプログラムです。



※支援内容詳細はJ-Startup公式サイトへ <https://www.j-startup.go.jp/>

J-Startup企業向け 支援内容例

■ 政府による集中支援の例

- ・ 政府の海外ミッションへの参加
- ・ 海外・国内大規模イベントへの出展支援
- ・ 特設ホームページ、国内外メディアによるPR
- ・ J-Startupロゴの使用
- ・ グローバルアクセラレーションハブ支援
- ・ 各種補助金等の支援施策における優遇
- ・ ビジネスマッチング
- ・ 入札特例等公共調達への支援
- ・ 規制等に関する要望への対応 等

■ 民間の支援例

- ・ 事業スペースの提供・料金優遇
(オフィス・工場空きスペース・研修施設等)
- ・ ロボット、製品・部品等を使った実証実験への協力
- ・ 検証環境や解析機器の提供
- ・ アクセラレーションプログラム、モノづくり支援
- ・ 専門家・ノウハウを持つ人材によるアドバイス
- ・ 自社顧客・関係会社等の紹介 等

スタートアップ育成プログラム「J-Startup」

2023年 選定企業



J-Startup2023選定企業



“

「移動の民主化＝すべての人が持続的に誰でも何時でも何処へでも移動できるように」という人類の課題解決につながるミッションを持っている。

アバターのインフラを構築することにより、既存移動手段の課題を解決する。いわば、未来の移動サービス。

ANAのグローバルアセットを生かしてIPOを目指した本格的な成長をしており、日本の大企業発の社内ベンチャーのロールモデル。

推薦理由コメントより一部抜粋



avatarin株式会社

移動の民主化～すべての人が持続的にいつでもどこでも自由に移動できるように～を目指したANA発スタートアップ。これまでの肉体の移動ではなく、あらゆるロボットやモビリティに人の意識、技能、存在感を伝送する新たな移動サービスの普及に取り組む。独自技術を用いて、遠隔操作の高速化や遠隔操作からのAI化に挑戦。

J-Startup2023選定企業

fermata

“

CEO杉本氏は、DrPH公衆衛生博士であり、日本のフェムテック業界の先駆者でもある。

アジアのフェムテック企業といえばこの会社。世界には様々なフェムテック製品があるが、それらを扱うための基準がまだないことが多い。そんな中で、ルール作りにも携わっている。

日本の女性たちの活躍の一助を担う会社になると期待している。

推薦理由コメントより一部抜粋



fermata株式会社

「あなたのタブーがワクワクに変わる日まで」をビジョンに掲げ、女性のウェルネス課題をテクノロジーの力で可視化、支援する事業を行っています。市場に参入を希望する企業への伴走や、自社プラットフォームの創出などを通じて日本・アジアのフェムテック市場の拡大を加速させ、皆が生きやすい世界を目指します。

J-Startup2023選定企業



“

独自の建築デザインと技術を融合させた次世代のスマートホームの実現を目指す姿は、住宅版TESLAを標榜している。

住宅分野にイノベーションを起こすために、米ポートランドにて大規模スケールのPoCを実施。メガスタートアップとして成長する可能性がある。

日本企業とのコラボレーションも進めるなど、既に日米の架け橋のような存在に成長している。新たなグローバルスタートアップを日本から展開する1つのモデルにもなり得る。

推薦理由コメントより一部抜粋



HOMMA Group株式会社

HOMMAのミッションは「未来の住生活体験を創造すること（Design & Create Future Home Living Experiences）」。これまでにない形で建築とテクノロジーを融合させることで、人々の未来のライフスタイルを実現させ、シリコンバレーから日本を含むグローバルな国々へと広げていくことを目指す。

J-Startup2023選定企業



“

唯一無二のテクノロジー。
メタマテリアルという従来材料を
凌駕する性能を持つ構造の設計アルゴリズムを保有。

日本の産業基盤である製造業の革新と
非連続なコスト削減を可能とする、
戦略的意義の高いソリューションを提供している。

日本の大手メーカーとの連携に加え、
海外展開の可能性も十分にある、注目の企業。
ユニークな技術を武器とする
ディープテック・スタートアップとして期待。

推薦理由コメントより一部抜粋



Nature Architects株式会社

Nature Architectsはメタマテリアルを活用した独自の設計技術「Direct Functional Modeling(DFM)」を活用することで顧客の製品設計を支援。DFMにより、部材一体化/材料代替による軽量化/コスト削減や、リサイクル性の向上、振動・音・変形・熱に関する機能向上などを実現することができる。

J-Startup2023選定企業



“

日本では馴染みの薄い寄付文化の発展やソーシャルファンディング領域の生産性向上を通じた新しいエコシステムの構築を担うスタートアップ。

社会課題解決と持続可能な成長の両立を目指す企業として、日本からグローバルに発信する中核となっている。

社会課題を解決する民間プレイヤーを増やすために、資金の流れを作っているREADYFORは、国家とは別のインフラとしても今後の日本を支える非常に重要な役割を果たしていく存在。

推薦理由コメントより一部抜粋



READYFOR株式会社

「誰もがやりたいことを実現できる世の中をつくる」をビジョンに掲げ、日本初・国内最大級のクラウドファンディング事業や、寄付・補助金マッチング事業を運営。各種事業を通じて、医療・研究・地域・文化など「既存の資本主義」だけでは流れにくい領域の活動に対して、想いの乗ったお金を流す。

J-Startup2023選定企業

SHE

“

新しいテクノロジーが広がり、
イノベーションのスピードが上がっている時代において
常に学びながら自己実現をしつつ
リスクリングを継続していることがより重要になっている、
そのトレンドを引っ張る存在。

女性の社会進出や自己実現支援において
「学ぶ」と「働く」の両方を併せ持つプレイヤーは
まだ少なく、新規性・競合優位性も高い。

社員全員にビジョンが浸透しており、
社会貢献およびインパクト創出の意識が非常に高い。

推薦理由コメントより一部抜粋



SHE株式会社

『SHElikes(シーライクス)』では、誰もが自分らしい働き方を叶えられるよう、WEBデザインやWEBマーケティングなどのクリエイティブスキルレッスンやコーチングプログラム、仕事機会を提供。これまでに70,000名以上が受講している。

J-Startup2023選定企業



“

ドローン・エアモビリティを活用し、
アフリカやアジアにおける
配送やデジタル化、グローバルヘルスに関する
課題の解決を目指すという
世界的にも重要なビジョンを掲げている。

大企業と共に「グローバルヘルスを応援する
ビジネスリーダー有志会」のメンバーとして
活動するなど業界をリードする存在。

推薦理由コメントより一部抜粋



SORA Technology 株式会社

「宙(SORA)」から人の生き方に変革を」という
ミッションのもと、ドローンを中心とするエア
モビリティを駆使し、マラリアなどの感染症や
ラストワンマイル配送といったグローバルヘル
スを中心とした喫緊の社会課題の解決に貢献す
ることで、宙(SORA)から「災害・疫病に負けな
い持続可能な社会」の実現を目指す。

J-Startup2023選定企業



日本発グローバルスタートアップとして
世界レベルで戦える存在。

一般ユーザーに見えるUI/UXが非常に優れていることに加え、
特に秀逸なのが、「データ管理・活用」と
「デジタルマーケティング」を両立できるという
一般には見えない提供価値。

既に多くの国からのアクセスがあり、
スポーツ団体の登録も伸長している。
消費者・事業者の両ユーザーからの評価は高く、
今後も国内外問わず更なる伸びが期待できる。

推薦理由コメントより一部抜粋



SpoLive Interactive株式会社

スポーツファンとアスリートやチームの距離をデジタルの力で縮めることをビジョンに掲げるスポーツテック企業。ファン・チーム・スポンサーといったスポーツ生態系における新たな関係構築を目指します。データドリブンなファンコミュニティ構築サービスを提供し、競技団体とファンの双方に参加価値を創出している。

J-Startup2023選定企業



SYNTHETICGESTALT



AIを用いて創薬や新しい酵素の開発に取り組んでおり、既存の手法では予測できなかった新規酵素の発見を可能する研究成果は世界を変えるポテンシャルを秘めている。

カーボンニュートラルの実現にも取り組んでおり、二酸化炭素からメタンを合成する研究は世界においても希少性が高い。

科学的発明の量産と安定供給を実現するAIの社会実装は人類社会を大きく前進させるものである。

推薦理由コメントより一部抜粋



SyntheticGestalt株式会社

SyntheticGestaltは「人工知能による発明の量産」をミッションに掲げるAIスタートアップ。現在は新薬の候補となる化合物や新機能を持つ酵素などの画期的発見をするための機械学習モデルを開発。全社員の半数が博士号を持っており、エンジニアの半数は英国名門大学出身者で構成されてる。

J-Startup2023選定企業

TURING



日本でほぼ唯一の完成車メーカーを目指す
スタートアップになるだろう。

世界の自動車市場で勝つことが大前提。
そのために必要な技術力のポテンシャルは十分に存在。

最大の強みは強いソフトウェア文化が根付いている点と、
それをバックアップするトップの人材採用ができている点。

初の資金調達から1年も経たずに、1台目の販売も完了。
次の10年・50年を代表する
日本発のスタートアップに成長すべく、好発進を切っている。

推薦理由コメントより一部抜粋



Turing株式会社

完全自動運転EVの量産を目指すスタートアップ企業です。AI深層学習技術を用いた限定領域に留まらない「完全自動運転」の実現を目指す。将棋AI「Ponanza」の開発者山本、自動運転領域の専門家青木が参画し、テスラを超える自動車メーカーになることを目標に掲げ、次世代の自動運転技術の開発に取り組んでいる。

J-Startup2023選定企業

TYPICA



コーヒー生産者とロースターによる
麻袋一袋単位でのコーヒー生豆の
ダイレクトトレードを可能にした
世界規模でのコーヒー豆の流通の合理化を図る存在。

オランダで起業後、創業4年目に入り、
日本のみならず韓国、台湾、EUでの事業展開にプラスして、
米国でのサービスも開始するなど、
スピード感をもってグローバルに展開しており、
今後のさらなる拡大にも期待ができる。

推薦理由コメントより一部抜粋



TYPICA Holdings株式会社

TYPICAは2019年の創業時より「ダイレクトトレードの民主化」を掲げ、2023年3月時点で世界71カ国・地域、約1万軒のコーヒー生産者とロースターをつなぐプラットフォームに成長。美味しいコーヒーのサスティナビリティを高めることで、経済成長と地球環境改善を一貫して実現できるビジネスモデルを追求している。

WOTA



グローバルの水に関する社会課題にフォーカスし、あらゆる地域で生命の根幹に関わる「水」を安心して扱える世界を目指す、高い理念を持つ会社。

水インフラに関して、自律分散型の新しいソリューションを商用化しており、完成度が高い。

今後上水道の維持管理が大変になってくる日本の地方部でも可能性がある。グローバルにもスケールする事業。

推薦理由コメントより一部抜粋



WOTA株式会社

水問題の構造的な解決を目指す企業。2014年の創業以来、地球上の水資源の偏在・枯渇・汚染によって生じる諸問題の解決のため、生活排水を再生し最大限有効活用する「小規模分散型水循環システム」及びそれを実現する「水処理自律制御技術」を開発している。

J-Startup2023選定企業



同様のサービスはグローバルにも多数存在する中で、秀悦なUXを持ち併せながら、CO2削減に係る多くの機能を提供することで他社優位性を確立している。

アジアへの展開を進める中で、シンガポール法人の立ち上げ、海外投資家からの調達にも成功し、さらなるグローバル展開の可能性も大いにある。

サステナビリティ・Climate Techスタートアップの概念の啓蒙にも大きく貢献。

推薦理由コメントより一部抜粋



アスエネ株式会社

「次世代によりよい世界を」をミッションに、クライメートテックのサービスを展開。CO2排出量見える化・削減クラウド「アスゼロ」による脱炭素のワンストップソリューション、サプライチェーン調達のESG評価サービス「ECR」を提供。企業のネットゼロ・ESG経営を支援し、サステナブルな社会創造にチャレンジしている。

J-Startup2023選定企業



ARUM Inc.

“

工作機械による部品加工に不可欠なNCプログラムを完全自動化したAIソリューション『ARUMCODE』は金属加工業の生産性革命をもたらす開発。

大手メーカーなどへの工場内生産ラインの自動化装置導入で豊富な実績を持つ。

CEATEC AWARD 2022にてデジタル大臣賞、2022年JVA中小機構理事長賞を受賞するなど近年、注目が集まっている企業。さらなる海外展開にも期待したい。

推薦理由コメントより一部抜粋



アルム株式会社

「製造AIと完全自動化で製造業の常識を変える」をビジョンに掲げ、多品種小ロットの精密部品加工業において、製造コストの50%を占めるNCプログラミング工程を完全自動化。2023年よりEU・ASEAN・北米にグローバル展開することを通じて、世界の製造業のデジタルトランスフォーメーションの加速に貢献していく。

J-Startup2023選定企業



“

自社で各種ライセンスも取得しつつ、その基盤をプラットフォームとして金融機関に提供し、各社が新しいサービスを始める礎となっている。

グローバルスタートアップとのコンペにも勝利してメガバンクに導入されるなど信頼性も高く、本邦金融機関のグローバル競争へのキャッチアップに不可欠なスタートアップであると言える。

シンガポール法人を持ち、東南アジア進出も開始。巨大な日本の金融市場における成長だけではなく海外進出も見越しており、ポテンシャルが高い。

推薦理由コメントより一部抜粋



クレジットエンジン・グループ株式会社

「"かす"をかえる。"かりる"をかえる。」をミッションに掲げ、オンライン融資システム「CE Loan」、オンライン債権管理回収システム「CE Collection」など、データとテクノロジーで金融機関のデジタル化を実現するサービスを提供。

J-Startup2023選定企業



“

AIによる可視化の精度向上には膨大な教師データが必要だが、当社は多くの自治体から農地データを獲得し、高度なAI精度を実現した。

土壌分析により最適な施肥量を割り出すことで、温室効果ガスの削減に寄与することから、農業カーボンクレジット市場にも参入しうる。

2019年よりインドに子会社を設置。農業DXに金融サービスを付加し、独自の競争力を持った国際事業展開を志向しており評価できる。何より創業者坪井氏の突破力に期待している。

推薦理由コメントより一部抜粋

サグリ株式会社

衛星データとAIを用いて、食糧危機や気候変動などの地球課題の解決に取り組む岐阜大学発ベンチャー。2018年兵庫県丹波市創業。シンガポールやインドに子会社を設立。農地管理を効率化する「アクタバ・デタバ」や衛星データで農地区画を形成する「AIポリゴン」、衛星データで土壌分析ができる「Sagri」を事業展開。



J-Startup2023選定企業



“

住む場所や家族構成・年齢に合わせて、自由に家を買替える文化創造を指向する社会課題対応型のスタートアップ。

3Dプリンターで住宅を短工期、低コスト、省人的に作るという、従来の建設業にはなかった発想を持つ。

住宅市場には成長性があり、建設業の人手不足の激化にも後押しされ、住宅の購入側、生産側の双方で成長が期待できる。

新興国等の海外でも住宅の旺盛な需要があるため、今後の海外展開にも期待したい。

推薦理由コメントより一部抜粋



セレンディクス株式会社

セレンディクスは日本初の3Dプリンター住宅メーカー。30年の住宅ローン失くすことをファーストミッションとして家を0から再発明する。ロボットが家を創る、24時間以内で家を創る、そして車を買う値段で家を買替える。新しいデジタル社会の実現を通じ、本当の自由を全ての世界の人に提供することを目指す。

J-Startup2023選定企業



“

早期発見が難しく、治療法は限定的である分野において従来にない画期的な治療法として期待されている。

治療の普及に向けた操作性向上のため、治療計画、治療ガイドも搭載。医師の技能に左右されない普遍的な治療システムの構築を目指している。

海外展開も進めており、日本初の革新的医療機器の成功モデルとなりうる企業。

推薦理由コメントより一部抜粋



ソニア・セラピューティクス株式会社

東京女子医大、東北大、東京医大で築かれた技術とノウハウを基に次世代型超音波ガイド下HIFU治療装置を開発。HIFU治療は低侵襲で被曝リスクの無い新たながん治療として期待されている。HIFU治療の実現を通じて、社名に込めた願いである「音響工学（超音波）でがん患者さんに新たな未来をもたらす」ことを目指す。

J-Startup2023選定企業



日本のDX化を牽引できるスタートアップ。

工数負担を圧倒的に軽減できる
真のDX推進を手助けするツールとして
日本を代表する大企業を中心に高い評価を受けている。

「誰もがシステムを使いこなせる世界を作ること、
誰も取り残さないDX化を実現する。
それで日本のDXの遅れを取り戻したい。」という
日本の社会課題に立ち向かう理念・志と、
それを改善する上で、シンプルにわかりやすく、
また導入しやすいプロダクトを推進する同社の強みが
推薦の決め手となった。

推薦理由コメントより一部抜粋



テックタッチ株式会社

「すべてのユーザーがシステムを使いこなせる世界に」をミッションに掲げ、Webシステムにノーコードで操作ガイドを追加できるシステム利活用支援ツール「テックタッチ」を提供。創業5年でユーザー数200万人超、DAP市場で国内シェアNo.1を獲得。DX推進の重要課題であるシステム習熟や高度活用を支援している。

J-Startup2023選定企業



ながすな 繭

NAGASUNA MAYU



伝統と革新の融合。

日本最大のシルク織物産地・丹後地方において、
伝統に新しいテクノロジーやサイエンスを付加して
織物以外の新しい用途開発をすることで、
日本全国へ、そして海外へ打って出て、
往年の輝きある町への創生にも貢献しようと目論む。

衰退した国内シルク産業の活性化と、
京丹後の地方創生をリードする存在となり得ると期待。

生物系素材系ベンチャーとして
世界に打って出る会社になっていく可能性がある。

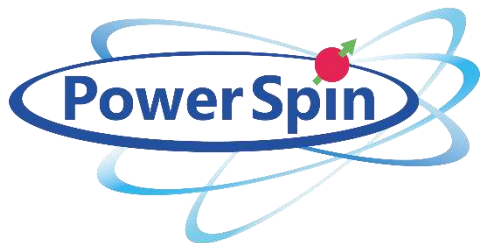
推薦理由コメントより一部抜粋



ながすな繭株式会社

ながすな繭では、シルクをとおして人々のより良い生活の実現に貢献することをビジョンに絹タンパク素材事業を展開。日本最大のシルク産業集積地に蓄積された伝統的なシルク加工技術と、新しい加工技術を組み合わせ、粉体から液体、成形体まで様々な絹タンパク素材及び加工技術を開発していく。

J-Startup2023選定企業



“

世界と戦える数少ない日本発の半導体技術である
東北大学発のMRAMに関する
300件以上の強固な特許ポートフォリオを有し、
半導体のデザインハウスとしてグローバルに
事業が推進できる稀有なポジションにある。

IPO経験のあるCEO、開発実績豊富なCTOという
経営・技術の両面に強みのある
プロフェッショナルなチーム。

グローバル進出も見据える等
半導体産業のゲームチェンジャーとなり得る企業。

推薦理由コメントより一部抜粋



パワースピン株式会社

東北大学が生み出した革新技術をベースに最先端のスピントロニクス/パワーデバイス半導体技術を提供。特に次世代半導体メモリとして注目されるMRAMを使用したスピントロニクス技術は、LSIの演算性能向上に比例して増加する消費電力を1/100に下げる技術として、省電力化を望む業界から熱い期待が寄せられている。

J-Startup2023選定企業



Human Life CORD
J A P A N



胎盤と胎児をつなぐ組織である
臍帯（へその緒）の可能性に着目し、
世界に打って出られる技術を持っている。

希少難治性疾患を対象に
世界中の命をつなぐ社会起業家。

従来、臍帯（へその緒）は廃棄するしかなかったが
細胞製品原料としての利用を行政に働きかけるなど
原田CEOの熱い想いは、
日本ひいては世界の医療を前進させる。

推薦理由コメントより一部抜粋



ヒューマンライフコード株式会社

「つなぐ命のきずな つながる未来」を企業理念とし「誰もが歳を重ねるごとに楽しいな世界を創る」ことをビジョンに掲げ、①輸入に依存せず備蓄可能な臍帯を利活用する細胞医薬品の製品化②安定供給を図るためのエコシステム構築を通じ、必要とする患者さんの生きる希望へつなげることをミッションとするバイオ創薬企業。

Fast DOCTOR



「2040年問題」の解決に向けて
新しい医療インフラの構築を目指す、
急成長中のスタートアップ。

ビジョンドリブンかつ
コンプライアンス意識の高いマネジメントがあり、
経営力・オペレーション力の高さは
コロナ禍においても十分に発揮されていた。

高度救急医療リソースの最適化を目指す社会的意義や
患者の潜在ニーズが大きく深いことを鑑みても期待は大きい。

推薦理由コメントより一部抜粋



ファストドクター株式会社

予防・急性期・慢性期・予後までペイシェント
ジャーニーに寄り添った医療相談・救急往診・
オンライン診療を支援する日本最大の医療プラッ
トフォームを運営。生活者支援、在宅医支援、自
治体支援等の事業を通じて新しい医療選択肢を
社会に提示しながらヘルステック企業として、
医療DXや医療データを使ったR&Dにも取り組む。

J-Startup2023選定企業



“

日本を代表する基礎研究者、情報科学者、医師、事業化のプロフェッショナルであるVC経験者と長年、製薬会社で研究開発をリードしてきた人材も加わり、大学発シーズを社会実装する上で、これ以上ないチーム。

世界で失われつつある健康な腸内細菌叢の回復は、重篤で完治の方法のない疾患に対して、新しい治療オプションを提供する可能性を秘めており、患者のQOLにおいても医療経済全体にとっても、大きなインパクトがある。

推薦理由コメントより一部抜粋



メタジェンセラピューティクス株式会社

メタジェンセラピューティクス株式会社は腸内細菌研究に基づいた医療と創薬でソーシャルインパクトを生み出す大学発ベンチャーです。順天堂大学、慶應義塾大学、東京工業大学の研究者が共同創業し、「腸内細菌叢移植（FMT）」の社会実装と、「マイクロバイオーム創薬」を推進している。

J-Startup2023選定企業



“

最先端の計算科学技術を用いた創薬プラットフォームを展開。
世界のヘルスケアの発展に貢献しうるスタートアップ。

計算科学のノウハウ・技術が当社事業の大きな特徴。
スパコンを使ったシミュレーションを高速回転させることで
まったく新しいシーズの発見や開発期間の短縮が可能となる。
価格的にアクセスしやすい薬となることも期待されている。

海外での資金調達も行い、既にグローバルな展開をしているが
創薬パイプラインがより成熟し、数も増えていけば
さらなるグローバルでの活躍が期待できる。

推薦理由コメントより一部抜粋



モジュラス株式会社

最新鋭のスーパーコンピューティング技術を活用した創薬プラットフォーム、グローバルなネットワーク型研究体制を統合し、独自の低分子創薬ポートフォリオと様々な提携を推進し、ガン、慢性の免疫・炎症系疾患などの病気で苦しむ患者さんとその家族に、画期的な医薬品を効率的に届けることを目指す。

J-Startup2023選定企業



“

世界的な魚介類の需要拡大、養殖ニーズの高まり、飼料価格上昇等、関連市場のニーズにマッチしており魚介類ゲノム編集育種のトップランナーとして日本の水産業再興や食料不足解決に大いに貢献できるポテンシャルを有している。

ゲノム編集技術とスマート養殖技術を掛け合わせた複合技術によるビジネスモデルも難易度の高い技術ミックスとなっており、競合優位性を保持しやすい。

日本のみならず、東南アジアでも事業を開始。世界の社会課題解決に資する企業。

推薦理由コメントより一部抜粋



リージョナルフィッシュ株式会社

世界の課題であるタンパク質クライシスを解決する未来を創ること使命として、ゲノム編集技術と、AI・IoTを駆使した養殖環境の構築で、衰退する日本の水産業を再興し、サステイナブルな成長産業に変革することを目指している。

J-Startup2023選定企業



当社と同様の研究・開発を行うチームは世界に数少なく、極めて稀有な存在。

有効な治療技術は存在しないといわれている慢性腎不全の根本的な治療法の開発は年々増加する全世界の患者を救う可能性を秘めている。

腎移植・慢性腎臓病のニーズは海外でも高まっており、グローバル展開も期待したい。

推薦理由コメントより一部抜粋

京都大学 iPS細胞研



リジェネフロ株式会社

リジェネフロは、慢性腎臓病の細胞医薬品を開発するベンチャー企業。慢性腎臓病は日本で最も医療費の高い疾患の一つですが、根治的な治療法は未だないのが現状。リジェネフロは、iPS細胞から分化誘導したネフロン前駆細胞による細胞治療で、慢性腎臓病に苦しむ患者さんを治療することを目指す。

J-Startup2023選定企業



LUCA Science Inc.



基盤となるサイエンスが素晴らしい。

世界に先駆けて、ミトコンドリアを安定的に単離、
製剤化する技術を開発。

臓器機能障害に対して幅広い応用が可能であり、
既に大手製薬企業との共同研究も開始している。

英国に拠点を持つほか、海外に複数の科学顧問もおり、
英国VCがリード投資家として参画するなど
グローバルでミトコンドリア医薬のパイオニアとしての
地位を確立しつつある企業である。

推薦理由コメントより一部抜粋



ルカ・サイエンス株式会社

生体エネルギーを回復するための、革新的なミトコンドリア製剤を研究開発するバイオ医薬品企業。ミトコンドリアは細胞の発電所であり、私たちの体にエネルギーを生み出す。これまで効果的な治療法がなかった様々な疾患領域において、アンメットメディカルニーズに対する治療法開発を行っている。

J-Startup2023選定企業



“

いまだ治療がない疾患の克服を目指す創薬スタートアップであり、大阪大学で蓄積された技術から“核酸医薬品”の実用化を進めている。

次世代の医薬品として注目している。

既に、海外の創薬ベンチャーへの技術導出を含む複数のパイプラインが進行中であり、核酸技術で世界をリードするポテンシャルを十分に有する。

推薦理由コメントより一部抜粋



ルクサナバイオテック株式会社

ルクサナバイオテックは、大阪大学発の人工修飾核酸群を基盤とした創薬プラットフォームを用いて、安全かつ効果的な医薬品実用化を進めるバイオテック企業。有効な薬のない疾患と闘う患者さんと支える方々へ福音となる核酸医薬品を届けることを目指し、複数の製薬会社との共同開発と自社創薬を積極的に推進している。

J-Startup2023選定企業



“

HONDAの自動運転制御技術を応用した
視覚障がい者向け歩行ナビゲーションシステムを開発。

大手企業からのスピンオフスタートアップの
ロールモデルになる可能性がある。

日本だけではなく世界に共通する
社会課題の解決に果敢に取り組まれており、
視覚障がい者が本来持つ
歩行能力を最大限引き出せるよう邁進されている。

推薦理由コメントより一部抜粋



株式会社Ashirase

Ashiraseのミッションは、「人の豊かさを“歩く”で創る」こと。あしらせでは、視覚障がい者の方々の安全確認で非常に大切な聴覚や視力を邪魔しない新たなインターフェースを開発。世界2億人以上いる視覚障がい者の相棒となり、一步を踏み出したくなるような歩行サポートを提供していく。

J-Startup2023選定企業



“

産業用コンピュータから
パーソナルコンピュータとなって普及したような
ロボットの業界構造改革を目指す
筑波大学発のAIロボティクススタートアップ。

人材レベルの高さにより、技術面での優位性を実現している。

今後労働力不足が進むことが見込まれる中、
雇用を補う方法として有力なロボット導入のニーズは
日本だけでなく、多くのマーケットで見込まれており
知見を活かした海外進出にも期待できる。

推薦理由コメントより一部抜粋



株式会社Closer

食品、化粧品、医薬品などの製造ラインを自動化する汎用的なロボットパッケージを開発。従来、自動化が困難だった多品種少量生産の現場へのロボット導入を実現する。大変な繰り返し作業をロボットで自動化し、人手不足の解消や工場の生産能力の向上を目指す。

J-Startup2023選定企業



ロボティクスの普及を加速しうる企業。

従来の触覚センサではネックだった
価格やモダリティなどの課題を技術によって解消し、
ニーズの高い現場にフォーカスしてソリューションを開発。

当社の技術により、
単調な作業から人間を解放し、製造現場の革新を図っている。

国際的なロボット研究者とのネットワークという武器もあり、
さらなるグローバルな事業展開にも期待。

推薦理由コメントより一部抜粋



株式会社FingerVision

「ロボット大国日本」は、過去のものなのか、それともこれからも尚、輝き続けるのか。強い危機感と大きな関心を持っています。当社は、実世界で活躍するロボット技術を起点に社会課題に「真っ向から」向き合い、変革に挑戦し続けます。 代表取締役 濃野友紀 (カーネギーメロン大学発スタートアップ)

J-Startup2023選定企業



“

日本から世界へと羽ばたいてもらいたい企業。

海外にも医師プラットフォームは存在するが、
当社の強みとする"臨床現場にフォーカスした"
アプローチは未着手で開拓の余地がある。

サービスを磨き込むことで、
医療現場の労働環境を改善するとともに、
医師への最適な情報流通を通して
多くの人の健康に貢献し得るソリューションを提供。

推薦理由コメントより一部抜粋



株式会社HOKUTO

HOKUTOは、「より良いアウトカムを求める世界の医療従事者のために」というミッションを掲げ、医学情報のインプットや活用といった一連のプロセスをサポートする医師向けの臨床支援アプリ「HOKUTO」を提供。医療現場の労働環境を改善し、医師を通じて全ての人の健康に貢献することを目指す。

J-Startup2023選定企業



“

「日本の建設用3Dプリンター元年」を支えた存在。

可搬式の3Dプリンターを自社開発し、日本で初めて3Dプリンターで建築確認済証を受けた建物を建設。

建設産業における就業者数の減少は、市民生活の根本にある社会基盤構築に影響を及ぼす社会課題である。

3Dプリンタを用いたコンクリート構造物の建設技術が確立されるならば、安定的な建設市場の形成に寄与するため期待する。

推薦理由コメントより一部抜粋

株式会社Polyuse

国内唯一の建設用3Dプリンタ技術全般の研究開発を行うディープテック企業。持続可能なインフラを支える建設業界において「人とテクノロジーの共存施工」を掲げ、研究開発・サービス提供まで一気通貫で行う。国内で初となる公共工事や建築物施工を実現し、未来の建設業界の基盤になるべくデジタル建設技術の確立を目指す。

J-Startup2023選定企業

Stroly

“

イラストマップとロケーション技術を
組み合わせた、全く新しいサービス。

観光分野だけでなく、
エリアブランディング分野等において
圧倒的な立場を築いている。

いち早くイラストマップの可能性に着眼し
ブルーオーシャンな市場を自ら開拓している。

SXSWピッチでもファイナリストに選出されており
グローバルにおいても期待されている。

推薦理由コメントより一部抜粋



株式会社Stroly

地図のもつメディアとしての可能性を信じ、最先端の技術で進化させることで、世界の創造性と多様性に貢献することを目指す。ストーリーがある表現力が豊かなイラストマップに、位置情報技術を組み合わせることにより新しいエリア体験を提供する、世界唯一のプラットフォームをグローバルに展開していく。

J-Startup2023選定企業

Thermalytica

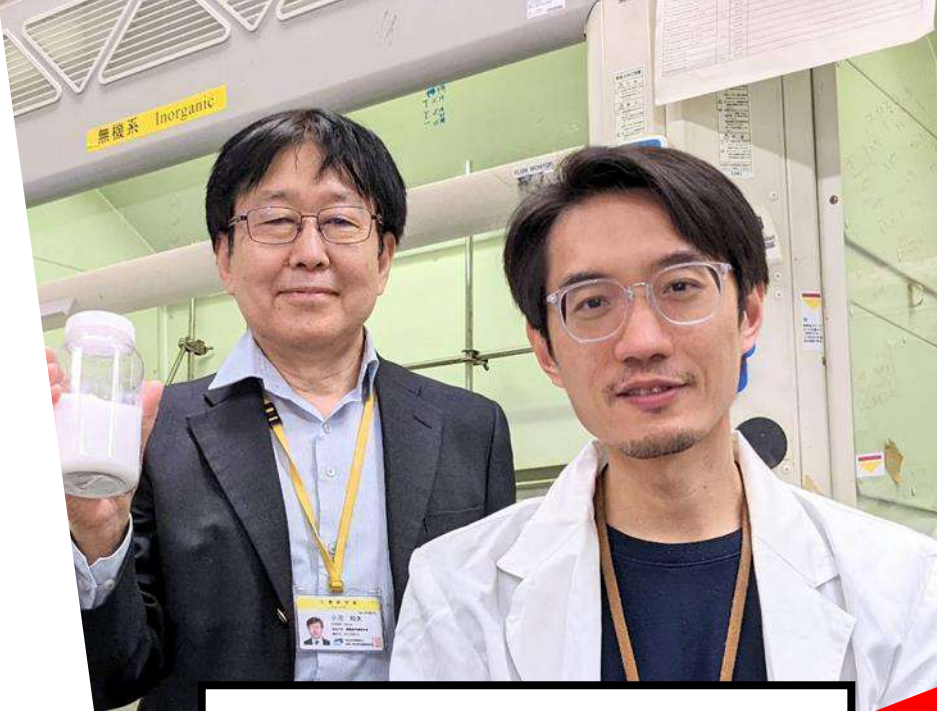
“

超耐熱素材を研究・開発するスタートアップ。

さまざまな用途に活用でき、
水素社会や電気自動車など
今後の成長市場に極めて適している。

断熱シート・ボード塗料のほか、宇宙・航空産業、
液化燃料の保冷容器などの最先端分野から
冷蔵庫・建材など身の回りの用途まで
幅広い分野で製品提供が可能であり
地球のサステナビリティに貢献する
スタートアップとしてグローバル展開も期待できる。

推薦理由コメントより一部抜粋



株式会社Thermalytica

当社独自のエアロゲル系断熱材TIISAは、断熱性と耐火性と経済性を合わせ持つ随一の素材。TIISAを使って人類共通の課題である「地球温暖化」「エネルギー問題」の解決に取り組む。次世代電子ビーム物理蒸着(EB-PVD)法による遮熱コーティングは、火力発電、ジェットエンジン、宇宙船の耐熱性を向上できる技術である。

J-Startup2023選定企業



国内で位置情報を活用した
リテールテックのリーダー企業の一角。

アプリを通じて集積したデータは、きめ細やかさ、
カバレッジの広さ、リアルタイム性に秀でており、
そのストックが高い優位性の源泉となっている。

交通インフラの円滑な運営、
各種施設の混雑解消などを通じ、地域活性にも貢献。

アジアを中心にスマートシティ開発も進んでおり、
更なるグローバル展開に期待ができる。

推薦理由コメントより一部抜粋



株式会社unerry

月間400億件超の屋内外の人流ビッグデータが蓄積されるリアル行動データプラットフォーム「Beacon Bank」を運営。ビッグデータとAI解析により、消費者行動を捉え行動変容を促すリテールマーケティング、流動人口や移動を捉えたスマートシティ向けサービスを展開。2022年東京証券取引所グロース市場に上場。

J-Startup2023選定企業

Waqua

“

災害時や水源のない場所での
水資源の有効活用を可能にする小型浄水装置を開発。

国内では、工事現場や災害時の避難所、船舶、
海外では、南太平洋やフィリピンの孤島や
寒村での水インフラの提供など、
社会的意義の高いソリューションを提供している。

大規模浄水装置については
大手日本企業が手がけているが
小規模のものは世界的にも希少性が高く、
社会貢献度の高い事業と考える。

推薦理由コメントより一部抜粋

株式会社Waqua

水のディープテック企業。ある特許を取得して
巨大プラントサイズの海水淡水化装置をミカン
箱サイズに小型化し、ソーラーや家庭用100vな
どの低エネルギーで稼働可能。これらの小型分
散型機器をIoT化してプラットフォームを構築し、
世界中にスマートウォーターグリッド社会の構
築を目指している。

J-Startup2023選定企業



“

京都大学化学研究所発のスタートアップとして特に化学分野での研究成果の蓄積という強みを活かし脱炭素社会の到来の加速化に貢献したいとのミッションを有している。

海外でも量産ステージに到達したグループがまだない中、高照度に加えて、室内で使用できる低照度向け製品の開発に力を入れている点に独創性がある。

室内の弱い光で十分な発電効率を得るには独自技術・ノウハウが必要であり、この分野で世界トップクラスの成果を達成している。

推薦理由コメントより一部抜粋

株式会社エネコートテクノロジーズ

京都大学発スタートアップ企業（2018年1月設立）で次世代太陽電池の大本命といわれるペロブスカイト太陽電池の開発を専門とする日本唯一の企業。同電池による「どこでも電源」化を実現すること、同電池の主力電源化を目指し超長期的なエネルギー問題解決に貢献することをコーポレートミッションとしている。



J-Startup2023選定企業



“

従来はミキサーセトラ技術を用いていた溶媒抽出に、エマルションフロー技術を活用した点に新規性・独創性が強くある。

エマルションフロー技術の特許の一部についてのライセンスを保有しており競合優位性が高い。

化学分野等の原材料の分離抽出が必要な分野へ展開可能であり、特にレアメタル資源のリサイクル領域では大きな成長を期待している。

推薦理由コメントより一部抜粋



株式会社 エマルションフローテクノロジーズ

日本原子力研究開発機構が開発した革新的溶媒抽出技術「エマルションフロー」を活用することで、リチウムイオン電池などに含まれるレアメタルを低コスト、高効率、かつ高純度に回収する水平リサイクルを実現し、脱炭素社会の実現に不可欠なレアメタル資源の将来にわたる安定供給に貢献する。

J-Startup2023選定企業



QUANDO

“

大規模な人手不足が予想されている製造業をはじめとする現場において、技術者不足の解消や設備稼働停止時間の削減に貢献。

実際に工数削減過程でも劇的な効果を上げており地方の中小企業から全国・世界レベルの大企業まで建設現場のDX化への推進が期待できる。

海外で使われている機械設備を日本の技術者がメンテナンスする際にも利用されており世界の市場でも十分に展開しうる。

推薦理由コメントより一部抜粋



株式会社クアンド

「地域産業・レガシー産業のアップデート」をミッションとし、遠隔からプロフェッショナルな判断を可能にする現場向けビジュアルコラボレーションツールSynQ Remote（シンクリモート）を開発・提供。大東建託や安川電機、JRグループなどが導入しています。福岡・北九州発のグローバルカンパニーを目指す。

J-Startup2023選定企業



“

長年にわたる徳島大のコオロギ研究から
系統育種技術、飼育手法の開発技術など
企業としての体制整備が進んでいるベンチャー。

消費者の昆虫食に対するリテラシー向上を
同時に進める必要があるが、
その壁を乗り越えるための商品開発能力は持っている。

欧州市場や東南アジアなどの市場への展開や、
サーキュラーエコノミーを推進する環境下において
国内外での飛躍を期待している。

推薦理由コメントより一部抜粋

株式会社グリラス

徳島大で30年以上蓄積された、コオロギに関する研究成果を社会実装する企業。食用コオロギは、飼育に必要な餌や水の量、温室効果ガスの排出量が少なく済むため、世界的なタンパク質不足への解決策として期待される。食用コオロギの普及と社会課題解決に向け、研究開発、生産、原料加工、商品開発、販売を一貫して行う。

J-Startup2023選定企業



フリマアプリFRILを作ったリアルアントレプレナー・
日本有数のプロダクトチームによる挑戦。

いつ、どこで、いくら使ったかを
リアルタイムで把握できる仕組みを提供し、
家計管理の課題を解決している。

キャッシュレス決済が浸透する中、
若年層の金融リテラシー向上や共働き夫婦・同棲などの
新しい世帯に合わせた支出管理に寄与することが期待される。

推薦理由コメントより一部抜粋



株式会社スマートバンク

スマートバンクは「人々が本当に欲しかったものをつくる」という理念のもと、家計簿プリカ「B/43 (ビーヨンサン)」を提供。新時代の「家族のお金のプラットフォーム」を開発し、お金を使う・貯める・増やすを誰もが当たり前のできる未来を作る。

J-Startup2023選定企業



CELLUSION

“

取り組んでいる課題の大きさ、
基盤となる技術・サイエンス、
経営者の人柄が推薦の決め手となった。

多くの待機患者がいる水疱性角膜症は
アンメットメディカルニーズがある分野。

高齢化に伴い患者の増加も見込まれており、
世界の移植待機患者問題を解決しうる
治療法として優位性がある。

推薦理由コメントより一部抜粋



株式会社セルージョン

セルージョンは我が国発のiPS細胞を利用した新しい角膜再生医療の創出を目指している。現在、全世界的なドナー不足により、角膜疾患を抱える多くの患者が治療を待っている状況がある。セルージョンは独自技術で角膜内皮代替細胞をiPS細胞から大量生産し、これを用いた細胞治療で全世界の角膜失明患者への貢献を目指す。

J-Startup2023選定企業



“

自閉症など発達障害者、
家庭内ケアラー、育児中の主婦・主夫など
働き方に制約のある人々へ
作業委託と実施支援を行うことで
新たな雇用機会を生み出しており、
社会的価値の高さも注目されている。

本事業を通じて、
企業と作業従事者の両方に価値を生み出す
世界的にも稀有なモデルを実現している。

推薦理由コメントより一部抜粋



株式会社バオバブ

「誰もがその人らしくいることが受け入れられ、
人生の選択肢が開かれている社会」の実現に向け、
障がい者や海外からの避難民など働き方に
制約がある人々へ作業委託と実施訓練を提供
しながら、高品質なAI(人工知能)学習データを国
内外でスピーディーに提供している。

J-Startup2023選定企業



病院特化モバイル端末の提供をハブとして
日本の医療業界のDX推進を担うユニークな会社。

ナースコール対応等の制約のため
PHSベースとなっている院内コミュニケーションインフラを
スマホベースへと移行させるソリューションを提供し、
医師・看護師の働き方改革や医療費削減など、
医療現場にまつわる様々な社会課題を解決している。

類似のDX課題を有する
東南アジア諸国への海外展開も予定しており、
さらなるグローバルでの活躍にも期待。

推薦理由コメントより一部抜粋



株式会社フロンティア・フィールド

フロンティア・フィールドは「医療のICTプラットフォームを創り医療をデジタル化する」をビジョンに掲げています。全国の医療機関に対しセキュアな環境下でデジタル化を実現するスマートフォンサービス「日病モバイル」を提供しながら、医療機関における業務の効率化や働き方改革を実現してまいります。

J-Startup2023選定企業

ヘラルボニー

“

障害をマイナスであることを前提とする従来の考え方とは一線を画す強い理念を持っており国内外に類を見ない企業である。

急速にファンとパートナーを獲得していて若い世代の就職希望者も多く、成長性がある。

最初から世界を対象にしているので、市場は無限大。

SDGsにおける環境面の取り組みが注目を集める中、ダイバーシティインクルージョンな取り組みの日本におけるモデルケースとなり得る。

推薦理由コメントより一部抜粋



株式会社ヘラルボニー

「異彩を、放て。」をミッションに、福祉を起点に新たな文化の創出を目指す福祉実験ユニット。国内外の主に知的障害のある作家とアートライセンス契約を結び、2,000点を超えるアートデータを軸に作品をプロダクト化。建設現場等の仮囲いに作品を転用するプロジェクトなど、福祉領域の拡張を見据えた多様な事業を展開。

J-Startup2023選定企業



“

簡単便利なアプリ、認証システム、信頼できるカスタマーサクセスチームにより、短期間で高成長を実現した。

人手不足の深刻化が見込まれる業界で、建設業のプラットフォームとして海外進出含め今後の大きな拡大が期待できる。

海外人材の利用も見据え、アジア展開による国境を越えた職人人材のプラットフォームになっていくものと期待している。

推薦理由コメントより一部抜粋

株式会社助太刀

「建設現場を魅力ある職場に。」というミッションを掲げ、職人と工事会社のマッチングサービスと建設業特化の採用サービスを運営。登録事業者数は19万を超え、建設業界におけるマッチング領域では圧倒的なシェアを誇ります。今後も、建設業界のあらゆる課題を解決するべく提供サービスを更に拡大していく。

J-Startup2023選定企業

建ロボテック

KEN・ROBOTECH



ロボットとヒトが共に働く楽しい建設現場を実現し、生産性の向上と作業者の負担軽減によって“ヒト不足”を解決するスタートアップ。

眞部社長自らが現場職人時代に感じたニーズを解決するロボットを開発。現場環境を意識した独自の製品仕様を実現している。

建設現場の労働者不足は、現在我が国の大きな課題として認識されており、ロボットの活用により現場の生産性を高める同社の取り組みは社会課題の解決に資すると期待できる。

推薦理由コメントより一部抜粋

建ロボテック

KEN・ROBOTECH



建ロボテック株式会社

「世界一ひとにやさしい現場を創る」をミッションに、建設現場出身の創業者が2013年に設立した、特化型研究開発企業。人とともに働く協働型ロボット「トモロボシリーズ」や「生産性向上」と作業者の「安全確保と負担軽減」を実装力あるソリューションを通じて、建設産業の健全な進化・発展に貢献する。

J-Startup2023選定企業



“

カーボンニュートラルという
喫緊かつ膨大な社会課題に対して、
スタートアップならではの機敏さと
オープンイノベーションのマインドで取り組んでいる
稀有な企業である。

既にアジア各国で事業プレゼンスを十分に有し、
再生可能エネルギーにおける技術とオペレーションエ
クセレンスのレベルも高いことから、
グローバル市場で成長していく可能性は高い。

推薦理由コメントより一部抜粋



自然電力株式会社

「青い地球を未来につなぐ」を掲げ、再生可能エネルギー発電所の開発、建設、保守運用を主に手掛け、国内外で1GW超の発電事業に携わる。自社開発のエネルギーマネジメントシステムによるマイクログリッドや、仮想発電所の構築、EVのスマート充放電サービス等を提供。自然エネルギー100%の世界の実現を目指す。

日本のスタートアップに次の成長を。
世界に次の革新を。



J-Startup